

2012年 1月25日【水】 先負 第22563号



「ザ・タイガース」解散の地再集結  
沢田研二(63)の全国ツアー

「ザ・タイガース」の最終公演が24日、日本武道館で開催された。41年前のこの日に解散公

演を行った「ザ・タイガース」の後期メンバーが集合し写真。ツアーメンバーの瞳みのる(65)、森本太郎(64)、岸部一徳

(65)に加え、ゲストで岸部シロー(62)も登場。03年に患った脳内出血の後遺症は残るが、シローは「肉体的にも精神的にも落ち込んでいたが、ここまで来てくれる気力が戻ってきた」と紹介。一



徳に体を支えられてステージに上がり、か弱い声でビージーズの曲「若葉のころ」を歌った。「ステージに立てたのは全部シローのおかげ」と感謝し、約1万3000人の喝采を浴びた。

東京中日スポーツ  
© 中日新聞東京本社 2012年(日刊)  
第19998号 5版  
2012年(平成24年)  
1月25日  
水曜日【先負】

シローの歌声にファンすすり泣き

ザ・タイガース

歌手の沢田研二(63)が24日、東京・北の丸の日本武道館で、ザ・タイガース時代の盟友、瞳みのる(65)、森本太郎(64)、岸部一徳(65)とともに回った全国ツアー(全38公演)のファイナルを迎えた。写真(中嶋大撮影)。

1971年1月24日、ザ・タイガースはこの場所解散した。思い出が詰まった武道館に、この日はスペシャルゲストとして、加橋かつみに代わって途中加入した岸部シロー(62)がスペシャルゲストとして登場。41年ぶりに後期メンバー5人が同じステージに立った。

自己破産や脳内出血に伴う視野狭窄(きょうさく)で心身に大きなダメージを負ったシローは、着席しながら、自身がリードボーカルを務めるビージーズのカバー「若葉のころ」を透き通った声



で熱唱。約1万2000人のファンからすすり泣きが漏れた。シローは「このステージに立てるのは全部シローのおかげ。ありがとう!!」と感慨深げ。最後は兄の一徳に支えられながらステージを後にした。